

第2期 平成27年度第4回 新宿区多文化共生まちづくり会議 議事概要

日 時 平成27年10月20日（火）10:00～12:00

場 所 区役所本庁舎 大会議室

出席委員 櫻井委員、金委員、洪委員、イーイーミン委員、センブ委員、シュレスタ委員、江副委員、鈴木委員、小林委員、バーバー委員、栢木委員、盛委員、梶村委員、安藤（陽）委員、井上委員、本多委員、太田委員、森田委員、竹内委員 19名

欠席委員 毛受委員、山脇委員、川村委員、稲葉委員、郭委員、サブコタ委員、安藤（博）委員、高委員、丁委員、李委員、勝村委員、飯嶋委員 12名

1 開会

2 事務局挨拶

3 新宿区多文化共生実態調査について

（1）新宿区多文化共生まちづくり会議からの提言(案)の検討

調査報告書に掲載する「新宿区多文化共生まちづくり会議からの提言」について審議した。

- ・調査結果から得られた課題の全てに言及できるわけではない。特に重要な課題にポイントを絞って提言を作成したい。
- ・提言の構成として「日本人」「外国人」という二項対立と捉えかねられない表現は使用したくない。同じ地域の一員という観点で編集してはどうか。
- ・日本人と外国人の間には文化・習慣などの「違い」があることは事実である。その点を捉えたうえで、その「違い」を理解しあい、トラブルを減らしていく必要があるだろう。
- ・まちづくり会議から地域住民に対する提言はすべきでない。私達も地域住民の一員であるという前提に立ち、共に努力していくための決意表明として掲載してはどうか。
- ・医療、災害時に日本語が通じないことは外国人にとって大きな問題となる。日本語学習支援のほか、通訳の配置については喫緊に取り組む必要があるのではないか。
- ・この提言がどのように具体化されていくのか、その進捗を測っていく必要があるだろう。

（2）今後のスケジュールについて

事務局から調査の中間報告及び考察・提言の作成スケジュールについて説明した。

4 閉会